

2012年度和歌山県“人間と性”教育研究協議会 総会

2012、3、3(土) 12:30~13:15

伊都教育会館

総会日程

- | | |
|-------------------|------------|
| 1、挨拶 | 会 長 岩田 清彦 |
| 2、2011年度情勢および活動報告 | 事務局長 山本 周子 |
| 3、2011年度会計報告 | 事務局員 角田 弥生 |
| 4、質疑・承認 | |
| 5、2012年度活動方針案 | 事務局長 山本 周子 |
| 6、2012年度予算案 | 事務局員 角田 弥生 |
| 7、質疑・承認 | |
| 8、事務局体制承認・その他 | |
| 9、各支部報告 | |
| 10、挨拶 | 新会長 |



2011年度情勢および活動報告

[情勢]

自然災害と人災

3、11に発生した東日本大震災、津波という災害で死者15,790人、行方不明者4,056人(9月16日警視庁まとめ)を出し大勢の人が家族、知人、住居、仕事を失い、今なお不自由な避難生活を強いられています。震災に続き、原発事故という人災が重なり、先の見えない危機的な事態となりました。

それにより、原発ゼロを目指す集会には6万人集まっても、新聞・テレビ等ではごく小さな報道しかされていません。メディアの規制があったとしか思えません。今や世界に放射能汚染を広げてしまった日本のとる道は、脱原発が最優先されるべきです。今後、原発事故や戦争といった「人災」が二度と起こらないよう私たちの生き方・考え方、制度全体を変えていく努力が必要です。

又、和歌山県でも台風12号に伴う被害では、死者17人、行方不明28人という、悲しい状況です。特に日高以南の地方で大きな被害を受けました。人家は何とか住めるようになってきていますが、橋は流れ落ち、河川は荒れたまま等々、まだまだ復興にはほど遠い状

況です。大雨とダム の放流問題について、明確にするため話し合いが続いています。
今年度は日本にとり、あまりにも大きな事が起こりすぎたように思います。

東日本の被災地では、性被害の報道も多くありました。避難所では従来の生活以上に性別役割分担が強化され、女性たちは過剰な負担を強いられ、暴力にさらされ、我慢させられており女性のストレスは少なくありません。男性が生活を支える上で責任を感じすぎるといふ、それ自体もまた性差別だとも言えるのではないのでしょうか。性暴力の被害防止策も考える必要はありますが、加害防止ということを考えていかなければいけません。幼い時からの環境と教育により、どういう「男性観」「女性観」「セックス観」が築かれているかが問題だと思います。この点については、今回の災害は日本のジェンダー観の本質を露わにしたと言えるのではないのでしょうか。この問題解決は「豊かな性教育」によるしかないと考えます。

ジェンダー問題

現在、女性の貧困と格差は深刻です。

母子世帯及び単身高齢者女性では相対的貧困率が5割を超え、高齢女性の約8割、母子世帯の約7割が年間所得200万円未満で生活しています。女性労働者の半数以上が非正規労働者で、正規労働者では女性は男性の約3分の2の賃金です。

このような女性差別は、性別分業に基づく制度、つまり男性を稼ぎ主とする世帯単位の税制と社会保障制度、家族政策といった制度が背景にあると考えられます。男女二分法に基づく性別分業の社会のシステム、性別役割から解放されジェンダー平等社会を実現していきたいものです。

「こころとからだの学習」裁判

2003年7月に起きた七生養護学校の教育に対する政治介入事件は同学校関係者のみならず、全国の教育関係者に衝撃を与えました。提訴後8年経った2011年9月16日に原告教員らの勝訴判決が出ました。

都議らの七生養護学校に対する教育介入は、旧教育基本法10条1項の「不当な支配」であるとし、「不当な支配」から教員を保護する義務を怠った都教委には保護義務違反を認め、性教育を行ったことを理由とした「嚴重注意」な違法だとしてしました。中でも七生養護学校の教育実践は「学習指導要領に違反しているとは言えない」と明確化されたことは画期的なことです。

教科書問題

今年は2012年度版中学校教科書の採択が行われました。日本国憲法、中でも男女平等に対する本質的な否定による自由社・育鵬社の歴史・公民教科書も3月の文科省検定で合格しました。

子どもと教科書全国ネット21の俵義文さんによると、

「9月5日までに全国の公立582採択地区の内、10数地区で育鵬社の採用が決まった。採択地域に共通するのは、保守系首長が自分の意志をくみ取る教育長や教育委員会を選び、教員や現場の意見を聞かない強引な手法による制度に変更したことだ。これらの教科書の採択に対する警戒は今後も重要だが、国民の多くが使いたいと思っていない面に目を向ける必要がある。」と述べています。憲法を否定し、史実をゆがめ、戦争を美化し誤記が多いばか

りか年表の盗作さえあるような教科書を、子どもたちに渡してはいけないと思います。

これから

危険な基地を沖縄に集中させて本土を守ったり、危険な原発は東北において首都圏の電源を守ったりするような手段の本質を見抜いていきましょう。又、「核の平和利用」「核抑止力」などというまやかしの言葉に騙されないでいきましょう。福島の子が言いました。「大人たちは本当のことを少しも教えてはくれません。」国民全体の真実の平和と安全を獲得してこそ、日本人のそして世界中の人間の「幸せな性と生」の実現が可能になるのではないのでしょうか。そのために私たちは、出来ることを真剣に考えて行きましょう。

(全国会報参照)



[活動報告]

2011、2、13 2011年度総会・学習会（美浜町立松洋中学校）

2、20 第20回近畿セミナー（滋賀 草津）
講演 河野美代子
分科会 日高 中西・小川先生
「生命誕生のキセキ!!!」

3、13 第76回近畿協議会

4、30 第77回近畿協議会

5、21 事務局会（エルシティオ）

6、12 第78回近畿協議会

8、25 事務局会（市教組）

8、27	第79回近畿協議会
9、19	事務局会（海草教育会館）
10、7	学習会（伊都教育会館）
10、22	第80回近畿協議会
12、23	全国幹事会
12、24～25	全国セミナー（東京）
2012、1、21	第81回近畿協議会
1、22	事務局会(エルシティオ)
3、1	事務局会（海草教育会館）
3、3	総会・学習会（伊都教育会館）
3、18	第21回近畿セミナー（京都教育大学） 講演 安齋 育郎さん（立命館大学特命教授） 分科会 伊都支部提案 「命をまるごとひきうける責任」 ～より自分らしく輝くために～

2012年度活動方針（案）

少人数でも集まり、意図的な会を持つことの重要性より、次のことを提案します。

- (1) 2012年度も各支部必ず1回の「集まる会」と開くことを意図的に計画します。
そこには、要請があれば県事務局が参加し、一緒に討論します。各支部は、とにかく「場」と「時」を設定し、テーマがあればさらにいいですが、なくても集まった時に現在の性教育の問題について話し合っていきます。
- (2) ホームページを意図的に開き、情報の交換をします。
- (3) 全国会員も含め、会員拡大を進めます。特に若い人を中心に。
- (4) 年4回以上のニュースを発行します。
- (5) 季刊Sexuality(1、4、7、10月) 1冊1500円定期購読7800円(全季4冊+全国セミナー特集号1冊、計5冊)の普及をします。
- (6) セミナーの宣伝・参加を積極的にします。

- (7) 機会あるごとに具体的な指導案の作成・指導案やレポートなど積極的に提案します。
- (8) 県下各支部がお互いに体制・学習・情報などの連携をします。
- (9) 総会については、紀北・紀南をできるだけ交互に会場とします。発表支部により、必ずしも交互にならないこともあります。
- (10) 性教協サークル活動発展のために
 近畿セミナーや全国セミナーの提案で、未会員が行う場合、全国会費5000円の
 うち3000円を以下の4つの観点から県事務局が負担します。
- ①新会員の拡大のため
 - ②新しい人の発表の場を保障するため
 - ③新しい人の実践から学ぶため
 - ④サークル全体の発展のため
- (11) 今後の主な取り組み・予定
- | | |
|------------|---|
| 2012. 3. 3 | 2012年度総会・学習会（伊都教育会館） |
| 3. 18 | 第21回近畿セミナー（京都教育大学） |
| 6 | 学習会（有田予定） |
| 8. 4～6 | 第31回全国セミナー 山口（発表 今回はありません） |
| 11、 | 拡大事務局会 |
| 2013. 2 | 第22回近畿セミナー（大阪） |
| その他 | 事務局会を定期的に行う
全国セミナー後の全国幹事会に出席
年に数回、性教協近畿連絡協議会に出席 |



2012年度和歌山県“人間と性”教育研究協議会県事務局体制

会 長 岩田 清彦

副会長 金城 清弘

事務局長 山本 周子

事務局員

池内 祥元

角田 弥生

柳 かおる

柳生 眞澄

支部事務局

伊都支部

那賀支部

和歌山支部

柳生 眞澄

海草支部

芝崎 俊美

有田支部

森田 美保

日高支部

小川 和芽

西牟婁支部

東牟婁支部

増田 昌美